

脳 神 経 外 科 学

【イントロダクション】

21 世紀は脳の世紀と言われており、人工頭脳の開発、脳機能の解明、また各種脳疾患の予防や神経再生といった新しい治療開発が積極的かつ国家的規模の予算で行われています。既に高齢化社会を迎え、脳血管障害の患者さんは減少することはなく、受療率も増加の一途をたどっています。

我々の教室では、中枢神経と末梢神経に関する外科学だけではなく、脳神経疾患の予防、神経画像診断学、局所神経解剖学、血管内脳神経外科学、神経病理学、リハビリテーションなど関連領域も含めて幅広く分担し、更に発展させるべくチャレンジしています。

医師になってからの生活により近い状態を体験するとともに、患者さんとのコミュニケーションや信頼関係の構築、診断から治療に至るプロセスの理解、外科手術およびカテーテル手技、プレゼンテーションなど自分自身のスキルアップやチーム医療への積極的な参加などを目標にしてください。

【目的】

- 1) 社会人としての守るべきルールを確認し、良好な人間関係を築くことができる（報告・連絡・相談：ホウレンソウ）。
- 2) 医師としての倫理観や責任感を理解し実行する。
- 3) 受け持ち患者やその家族と良好な人間関係を築いた上で、情報を収集し診療を進めることができる。
- 4) 講義や実習で学んだ診察技術を駆使し神経診察、身体診察ができる。
- 5) 検査結果（血液、生理、画像など）から診断できる。
- 6) 診断から治療計画を策定することができる。
- 7) 過度な精神的不安を与えない様に患者への病状説明や質問に対する回答ができる。
- 8) 適切なカルテの記載ができる。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 患者および家族と良好な信頼関係を築くことができる。
- 2) 医療チームのなかでの自分の役割を理解しチームの一員として仕事をこなすことができる。
- 3) 神経学的所見、身体診察から必要かつ重要な情報を取捨選択することができる。
- 4) 鑑別診断も含め、診断結果から以後の診療計画を立てることができる。
- 5) 脳神経外科で行われている検査の概要、有用性、長所、短所、合併症などの危険性を理解し説明できる。
- 6) 収集した情報をもとに、問題志向型診療記録を作成できる。
- 7) カンファレンスで神経身体所見、検査結果、画像所見、診断、鑑別診断、治療方針を適切にプレゼンテーションすることができる。
- 8) 診療に必要な知識・情報が記載してある論文を検索収集することができる。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日朝にオリエンテーションを行い、ポートフォリオを配布するので、実習中に学んだこと、体験したことを実習中毎日漏らさず記入すること。また、実習中に調べた知識や検索した文献なども、すべて綴じ込むこと。
- 2) 第1週の月曜日に担当症例および担当指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、担当指導医と行動を共にすること。担当指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一担当指導医に指示を仰ぎ従うこと。
- 3) 担当指導医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ(電子カルテ)とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで記載すること。
- 4) 火曜日朝の教授回診の際には、患者の概要と現在の治療の進行状態、治療後の状況などを簡潔に教授にプレゼンテーションすること。また、木曜日以外のモーニングカンファレンスで、適宜主治医の代わりに症例提示を行うこと。そのために、担当指導医のもと、既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、スライド作成や原稿準備など事前しておくこと。

【広島大学病院での週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	モーニングカンファレンス 症例割当（第1週） 手術見学・参加	栗栖教授 光原助教 担当指導医	医局カンファレンス 手術室	8:00-8:30 8:30-9:30 9:30-
火	モーニングカンファレンス 教授回診 脳血管撮影 病棟実習	栗栖教授 岡崎助教 担当指導医	医局カンファレンス 病棟 外来棟4階3番IVR室	8:00-9:00 9:15-
水	モーニングカンファレンス 病棟実習 製品説明会 脳血管内治療	担当指導医 坂本助教	医局カンファレンス 病棟 医局カンファレンス 外来棟4階3番IVR室	8:00-9:00 9:00-12:00 12:50- 13:30-
木	手術見学・参加	担当指導医	病棟 手術室	8:00-
金	モーニングカンファレンス 脳血管撮影 病棟実習	岡崎助教 担当指導医	医局カンファレンス 入院棟1階脳血管撮影室 病棟	8:00-9:00 9:15-

* 関連病院の予定に関してはそれぞれの病院での実習初日に説明する予定です。

* 適宜、脳神経外科における基本手技（縫合、糸結び、血管吻合、カテーテル操作など）を体験してもらう予定です。

【評価】

8項目の到達目標が実習中にどの程度達成されたかを評価する。方法は、担当指導医による全体的な行動評価、教授回診やモーニングカンファレンスでのプレゼンテーションの内容、記載したカルテの内容の評価、ポートフォリオの内容の評価などによる総合評価を行います（詳細は以下の通りです）。

評価項目	配点
学生用カルテの内容	10
教授回診での患者提示のでき具合	10
カンファレンスでのプレゼンテーション	20
ポートフォリオの内容	20
担当医による学生の行動内容の評価	20

指導医による学生の行動内容の評価	20
遅刻	-2
無断欠席	-5

【関連施設、及び担当医師】

1. 県立広島病院脳神経外科

富永 篤 主任部長（臨床教授）、以下 6 名

大学病院から最も近い総合病院。バランスよく脳神経外科疾患全般にわたって経験できる。定期手術も多く、高度な手術手技を要する疾患の外科的治療も積極的に行っている。

2. 国立病院機構呉医療センター脳神経外科

大庭信二 医長（臨床教授）、以下 4 名

元、国立呉病院。中国がんセンターを併設している。呉市青山町の高台にある。救命救急センターを併設しておりプライティに富んだ疾患を経験できる。医長が脳血管内治療専門医であるため、血管内手術の症例が多い。

3. 国立病院機構東広島医療センター脳神経外科

勇木 清 副院長（臨床教授）以下 4 名

元、国立療養所広島病院。広島大学本部の所在地である東広島市並びに広島県中央医療圏の中核病院。副院長率先のもと、積極的な診療が評判である。幼児から高齢者まで幅広い年代の疾患を経験できる。

4. 厚生連広島総合病院脳神経外科

黒木一彦 主任部長（臨床教授）以下 3 名

古くから佐伯農協病院として知られている。地元廿日市を中心に広く県西部、旧佐伯郡、吉和村、大竹、岩国までの医療圏を担当する。廿日市市の市民医院的施設であり、同市からの援助により救急部門の拡充がなされた。広く一般脳神経外科、脳神経内科治療の経験ができる。

【研修期間による対応】

2 週間のコースでは、大学 1 週間、1 関連施設 1 週間となる。

4 週間のコースでは、3 週間で大学、後半の 1 週間で 1 関連施設となる。